

平成29年度 学校評価書(自己評価・学校関係者評価)

山形県立鶴岡工業高等学校(全日制)

教育目標	1 豊かな教養と工業に関する知識と技術を修め、創造性に富んだ人間の育成。 2 自ら深く考え正しく判断する力と他を思いやる心をもった感性豊かな人間の育成。 3 健全な身体とねばり強い実践力を培い、心身共にたくましい人間の育成。	重点目標	1 確かな学力の育成と授業の充実 ー社会を生きぬく基盤となる学力の育成ー 2 心身の健康と生徒指導の充実 ー豊かな心と健やかな体の育成ー 3 高い目標を実現できるキャリア教育の充実 ー変化に対応し、社会で自立できる力の育成ー 4 工業教育の活性化と学校活力の創出 ー学校と地域の協働によえう人づくりー 5 地域に根ざした魅力ある元気な学校 ー郷土に誇りを持ち、地域とつながる生徒の育成ー
------	--	------	---

達成度	A : 達成	B : 概ね達成	C : やや不十分	D : 不十分
-----	--------	----------	-----------	---------

評価項目	自己評価(年間)				学校関係者評価	総括
	具体的方策と指導・基準等	目標達成状況及び取り組み状況	達成度	次年度に向けた改善策	意見・要望・評価等	
1 学力の向上と学習指導の充実	(1)家庭学習の定着と探究的な学習の展開による確かな学力の育成を図る。 (2)知識・技能の活用による探求心や表現力を育む授業の展開を行う。 (3)高度な資格や検定等の取得を目指した高い専門性を持った生徒の育成を目指す。	(1)出席率は目標である99.5%を達成できた。 (2)家庭学習2時間以上を目標にしたがテスト前は概ね達成できたが普段は達成できなかった。 (3)授業満足度95.2%と目標80%を大きく超えた。 (4)年間図書貸出読書数4.6冊/人(昨年4.2冊) (5)英語検定15名受検し準2級2名3級2名合格。 (6)職員研修会を開催して探究型・PBL・ALについて研修し、研究授業で実践した。	B	・昨年度末に家庭学習時間を含めた生活アンケートを実施した。さらに実態を把握し、年度当初から改善策を講ずる。 ・普通教科の強化が求められている。具体的な教育課程の見直しを図るため、早急に検討に入る。	・学校側の努力が結果し、成果が顕著である。 ・授業で学んだ知識がしっかりと理解し、役立てるよう指導をして頂きたい。 ・各部門の改善点や課題を全教職員で分析しより前進するよう期待する。 評価B	・地域拠点校としての特色と魅力をさらに発信できるように努力していきます。 ・地域に根ざし元気な学校、郷土に誇りを持ち地域とつながる生徒の育成に心掛けて実践します。 ・確かな学力に基づいたキャリア教育の視点で探求心と向上心を持った生徒育成に取り組みます。 ・家庭学習の習慣化の点で不足しており継続して指導します。 ・社会で自立できる社会性を身につけ、いじめの根絶や交通安全意識の向上に今後も取り組みます。 ・元気で豊かな心と健やかな体をつくり、工業教育の充実と学校活力の創出に取り組みます。 ・各種大会で全国で優勝できる生徒を育成します。
2 心身の健康と生徒指導の充実	(1)自他の尊厳を大切にし、社会の一員としての規範意識やマナーの育成を図る。 (2)豊かな人間関係を育む学校生活と交通安全・情報等に関するモラル教育の充実を図る。 (3)家庭や地域と連携・協働した教育活動による生徒指導の充実を図る。	(1)いじめアンケート2回実施 いじめ事案は無かった。 (2)自転車事故が14件と多かった。(昨年10件) (3)部活動加入率は目標の90%以上を達成した。 (4)PTA総会を2回実施して出席率60%目標にしたが、66.4%(昨年57%)を達成できた。 (5)学年PTA・学級PTA・地区PTA全実施できた。 (6)情報モラル講話により、機器使用のルールの徹底が図られている。 (7)スクールカウンセラーとの継続的面談が生徒の心理面の安定に繋がっている。 (8)学年団部と当該学科との情報交換を密にし、MH委員会(特別支援)を適時開催できた。	B	・自転車通学について地域の一員としての自覚及びマナーの向上を目指す指導を強化する。 ・いじめは絶対許さない校風づくりと完全防止を徹底する。 ・全職員が互いに連携し、共通認識をもって丁寧な生徒指導を行う。	・学校生活全般にわたり生徒指導が充実している。 ・生徒アンケートをふまえ、改善点の実行を望む。 ・個人指導をさらに充実するよに望む。 ・読書に力を入れ、読後感を醸成させてほしい。 ・先生方の健康維持を切に望む。 評価A	
3 キャリア教育の推進	(1)将来の在り方生き方を探求し、変化に対応できる実践的な技術者の育成を目指す。 (2)コミュニケーション力や自己表現力等の求められる人間力の育成を図る。 (3)高い進路目標を持ち、地域の未来の発展に寄与できる進路指導の実現。	(1)企業就職希望160名中県内99名県外61名100%公務員希望7名中4名が早期内定を達成した。 (2)地元就職率は63%と60%を初めて超えて目標達成できた。(H28は58%、H27は56%) (3)全クラス三者面談を年1回以上実施できた。 (4)国立大学進学希望者100%合格を目指したが達成できなかった。 (5)進路ガイダンスを年1回以上目指し達成した。 (6)国家技能検定旋盤2級1名、電気工事士34名基本情報技術者1名、ITパスポート2名、測量士補5名、建築施工技術者16名、危険物取扱者全類1名合格。ジュニアマイスターゴールド9名シルバー15名	B	・今年度から3年間を見通した進路ガイダンスを実施したが、今後は自己のキャリアプランのロードマップを作成して明確な進路意識を醸成させたい。 ・個別指導をさらに丁寧に行う必要があり、全職員が支援できる体制づくりが必要である。	・資格試験達成にむけて生徒に対する自覚意識をさらに高めるような指導をお願いしたい。 ・企業はとりわけ英語による取引が必要である。生徒に語学教育の必要性を理解させ、よき指導をお願いしたい。 評価B	
4 地域連携と魅力ある元気な学校	(1)地域や産業界との連携による工業教育の活性化を図る。 (2)小・中学校への魅力発信と大学等との連携による工業教育の充実を図る。 (3)全国で活躍できる部活動やものづくり活動の育成と支援を図る。 (4)ホームページやパブリシティ等による積極的は情報の発信を図る。	(1)郷土愛醸成のモデル校に指定され新聞活用研究を年間通して取り組んだ。また、山形大学工学部と高大連携・接続協定を結び生徒の研究体験や城戸淳二教授の記念講演を実施できた。 (2)技能五輪旋盤部門2次予選へ2年連続出場、WroJAPAN県大会3クラス優勝、マトロイデコンテスト県大会777賞、第61回日本学生科学賞県優秀賞など多くの大会で入賞に輝いた。 (3)地域に工業技術を生かす研究活動とPR活動を積極的に行った。課題研究発表会では荘銀タクト鶴岡で開催しマスコミから大きく取り上げられた。ものづくり展示会は大好評を得た。 (4)中学生体験入学会の満足度90%を達成した。 (5)HPの更新は月2回の目標が週1回以上達成。 (6)学校紹介パンフを更にリニューアルした。	A	・地域になくてはならない学校として、特色と魅力を最大限に発信していく。 ・運動部、文化部の活発な活動により、拠点校として維持・発展していく。 ・伝統に甘んじることなく常に新しい視点で地域と連携していく。 ・パブリシティの積極的な活用。	・ものづくりの拠点として高レベルで定着しており、高く評価される。 ・今年度の活動は、指導・熱意のたまものであり、近年にない成果だと思う。 ・地域に溶け込んだ特色ある活動をしている。これらはマスコミも高く評価している。 評価A	

自己評価及び学校関係者評価の改善点等	・工業高校の特徴であるものづくり教育をさらに発展・充実したものにして将来の進路実現に結びけられるよう、職員一丸となって取り組む。 ・改善の要するところ、すでに達成できていて更に進展させる方策について全職員で共有し検討していく。
--------------------	--